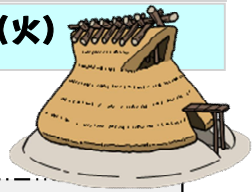




静岡市立清水浜田小学校



出前授業レポート



静岡県埋蔵文化財センター

令和5年9月12日(火)

「一人ひとりがしっかり活動できるように工夫してくれていた
ので、みんな集中して活動できていたと思います。」

静岡市立清水浜田小学校の6年生23人が、4月に引き続き今年度2回目の出前授業を受けました。今回は、キャリア学習とつなげて、埋蔵文化財センターで働く方の仕事の魅力について聞くと共に、古墳時代の学習の理解をより深める目的で、職業講話と勾玉作り体験の2つの活動を行いました。

職業講話(発掘調査 と保存処理の話)

キャリア教育の一環として、埋蔵文化財センターの業務内容を話しました。発掘調査の話では、発掘調査時の動画を見ながら、仕事のやりがいや大変さなどを話しました。重機を使った掘削や、ドローンを使った写真撮影など発掘現場の動画を視聴したことで、わかりやすく、より身近に感じることができたようです。

授業後の感想では、発掘調査の仕事をしてみたいという子どももいて、とてもうれしく思いました。

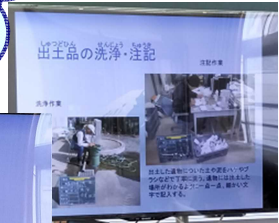
「こういう作業
をやってみた
と思った。」

埋蔵文化財に関わる仕事

- 失われる遺跡を調査して、後世に記録を残す仕事。
- 発掘調査から、新しい歴史を生み出す仕事。
- 出土した遺物を保存修復し、保管・公開する仕事。

＜こうした仕事をするためには＞

- 歴史に興味を持ち続けること。
- その仕事に関係する知識をたくさん身に付けること。
- 専門の課程(大学の歴史専攻など)に進学すること。
が、必要だと思います。



勾玉作り体験

勾玉作り体験をすることで古墳時代の学習の理解を深めました。初めに勾玉の形について話し、作り方などを説明しました。

第1段階の粗い紙やすりで形を作っていきますが、大胆に削る子や慎重に削る子など様々で、進み具合がまちまちでしたが、みんな集中して形を作っていました。

第2段階は比較的早くクリアして、第3段階の仕上げを丁寧にを行いました。色を着けて、紐を結んで出来上がりました。世界に1つの勾玉が出来て、とても喜んでいました。

「だんだんきれいな形になって良かったし、うれしかった。」

「削っていくと丸くなり、形が良くなって、色を着けると可愛くなったので、家の人にじまんしたい！」

先生方の感想

「特別日課の中で来ていただき、キャリアの話と勾玉作り体験を上手に組み込んでくれていました。子どもたちが、よりよい勾玉を作ろうととても頑張って作業していました。勾玉の本物や、今まで作った見本などを子どもたちが見ることができてとても良かったと思います。勾玉作りセットがとても良かったです。班ごとに手順の用紙があったり、一人ひとりがしっかり活動できるように工夫してくれていたため、みんな集中して活動できていたと思います。今年度、浜田小には4月に引き続き9月も来ていただき、2回も出前授業を受けさせてもらい、貴重な体験が多くでき感謝しています。ありがとうございました。」

